

平成 26 年度職員採用試験（大学卒業程度）
畜産一般 専門記述試験（26. 6. 22）

＝ 課 題 ＝

○国際情勢の変化に対応した経営力の高い肉用牛経営について

本県では、「産業として自立できる農林水産業の確立」を最重要目標とし、経営力の高い担い手を中心となった、力強い畜産への生産構造の転換を進めています。

しかしながら、肉用牛繁殖経営においては、家族経営を中心とする生産構造から法人経営への転換が進んでおらず、依然として小規模零細な経営が大多数を占めており、肉用牛肥育経営においては、輸入飼料に対する依存度が高く、収益が外的要因に左右されやすい生産構造となっています。

また、最近の国際情勢を見ると、平成 26 年 4 月に日豪 E P A（経済連携協定）の大筋合意により、豪州産牛肉は段階的に関税が削減されることになり、さらに T P P（環太平洋パートナーシップ協定）交渉では、米国から大幅な牛肉関税の削減を求められるなど、今後の肉用牛経営に対する影響が懸念されるようです。

これら国際情勢の変化に対応し、本県の肉用牛生産を維持・拡大するためには、どのような対策が必要か、あなたの考えを述べなさい。